



平山 忠

質問 1

教育相談室の充実

町 保護者、学校と連携を図る

問 専門職として作業療法士を配置した。どのようなことをしているのか。

答 地域巡回相談を行っている。専門的な人が学校等を訪問し、気が付いた事を指導している。アドバイス、家庭訪問している。

答 日曜日の利用、夜間に集会を開催している。現在は教育相談室、自治公民館側からもトラブル等はなく、また要望もない。

問 現在の教育相談室をみて、何か考えることはないか。

答 昭和40年4月に建てられた築50年の古い建物である。

問 現在、黒田原本町自治公民館が借用し使用している。子供に影響はないのか。



地域と町が掃除し、きれいになった教育相談室

質問 2

町ゴルフ場の活性化対策

町 支援の手法について検討

問 活性化対策としてゴルフ場利用税の一部を還元する考えはあるか。

答 県税交付金である。インフラ整備、防災対策、行政サービスに対する財源であるので、別な形で活性化対策を認識している。

問 町には8つのゴルフ場がある。固定資産税はどの位納付されているのか。

答 1億2750万円程度である。

問 ゴルフ場が経営難になった場合、町税関係に影響があると思うが町の考えは。

答 滞納となった場合には、それなりの影響があると思う。

問 ゴルフ場活性化対策として近隣自治体では、様々な事業を

展開し、松くい虫対策に補助金を出している。利用税の還元はできないか。

答 ゴルフ場協議会へ補助をしている。ゴルフのみならず、観光、地域活性化、高校、地域との連携、ゴルフを中心にした事業展開を検討していく。



町ゴルフ場の現状